

HDD関連市場に関する調査結果 2009

【調査要綱】

矢野経済研究所では、現在注目されている HDD 関連の市場動向、技術動向について調査を実施した。

1. 調査対象：HDD 関連メーカー（HDD=ドライブ、HD=メディア、磁気ヘッド、基板）、SSD メーカー
2. 調査期間：2009年8月～2009年10月
3. 調査方法：当社専門研究員による国内企業、及び海外メーカー日本人各社への直接面接取材を中心に、電話、e-mail 等によるヒアリング、各種文献調査を併用

【調査結果サマリー】

◆ HDD（ハードディスクドライブ）の世界市場規模は5億5,510万台の見込（2009年）

2009年の HDD の世界市場は、数量ベースでは前年比 102.9%で拡大し、5億5,510万台の見込である。これは、2008年第4四半期から2009年前半は世界的な不況により需要が冷え込んだが、2009年6月から新興国でのノート PC 市場の好調等により販売が復調／拡大に転じたためである。こうした動向に伴い、HD（メディア）、磁気ヘッドも市場が拡大するものとみられる。

◆ HDD の口径別市場は3.5インチがトップ、成長率は2.5インチが最も高い

HDD 市場を口径別にみると3.5インチが主流であるが、2.5インチの比率が高まりつつある。2.5インチの比率拡大の要因は、主要アプリケーションであるノート PC 市場が好調であること、3.5インチの主要アプリケーションであるデスクトップ PC、サーバが2.5インチへ移行していることによる。

◆ HDD の市場は今後も拡大傾向で推移、2012年の世界市場規模は5億8,300万台と予測

HDD 市場は今後も拡大傾向で推移し、2012年は5億8,300万台と予測する。NAND フラッシュ、SSD との競合が、ポータブル機器から、サーバ、医療機器など範囲を拡大するものとみられる。しかし、価格、記憶容量で HDD に優位性があり、SSD の市場が HDD 市場に大きな影響を与えるのは、2015年以降であると推定する。HDD の口径別では、2.5インチの成長率が高く、2012年には現在最も多い3.5インチ市場を抜き3億台になり、HDD の主力製品となるものと予測する。

◆ 資料体裁

資料名：『HDD 関連市場の現状と展望 2009』
発刊日：2009年10月30日
体裁：A4判140頁
定価：126,000円（本体価格120,000円 消費税等6,000円）

◆ 株式会社 矢野経済研究所

所在地：東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長：水越 孝
設立：1958年3月 年間レポート発刊：約250タイトル URL: <http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先（当社 HP から承っております <http://www.yano.co.jp/>）

㈱矢野経済研究所 営業本部 広報・PRグループ TEL：03-5371-6912 E-mail: press@yano.co.jp

本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。
本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報・PRグループ迄お問合せ下さい。

【 調査結果の概要 】

1. 市場概況

1-1. HDD(ドライブ)

- 当該市場は、年々順調に拡大してきたが、2008年9月のリーマン・ショックによる世界的な大不況により、2008年第3四半期から2009年第2四半期まで販売が落ち込んだ。しかし、新興国でのノートPCの販売好調などの要因により、2009年6月に市場が回復し成長基調に戻った。従って、2009年のHDD世界市場は、前年比102.9%の5億5,510万台になると推計する。
- サイズ別にみると、2009年は2008年までに引き続き3.5インチがデスクトップPC、サーバを中心に安定した需要があり、HDD市場の56.1%の3億900万台になると予測する。また、成長率でみると2.5インチがメインアプリケーションであるノートPCの新興国をはじめとする世界的な需要好調や、サーバなどの3.5インチアプリケーションのダウンサイジングにより最も成長率が高く、2009年の世界市場は前年比111.1%の2億3,500万台になるとみられる。
また、1.8、1.3インチは撤退が相次ぎ、UMPC（ウルトラモバイルPC）、ポータブル音楽プレーヤなどポータブル機器の一部に採用されるのみで市場は大きく縮小傾向にあり、2009年の世界市場は前年比39.9%の710万台になると推計する。

1-2. HD(メディア)、磁気ヘッド

- HD(メディア)市場、磁気ヘッド市場は、HDD市場の成長に伴い拡大傾向で推移している。2009年のHD市場は前年比100.2%の9億2,049万枚、磁気ヘッド市場は前年比103.2%の16億個になると推計する。

2. 注目すべき動向

- 記憶容量拡大、記録密度向上に向けて参入メーカー各社で積極的な取組がみられる。2010～2011年までは、現在採用されている垂直磁気記録方式での記憶容量拡大、記録密度向上となるが、それ以降はDTM（ディスクリット・トラック・メディア）、BPM（ビット・パターン・メディア）が採用されるものとみられる。また、2016年以降は熱アシスト方式が採用される可能性が高い。しかし、現在は技術の過渡期であり、どの技術・方式が主流となるかが不透明であり、参入各社は垂直磁気方式、DTM、BPM、熱アシスト方式の全ての技術構築・開発に取り組んでいる。
- 1.8インチ以下の主要アプリケーションはUMPC、ポータブル音楽プレーヤ、デジタルカムコーダであったが、これらの全てがSSDやNANDフラッシュへのシフトによりHDDの採用が減少している。低価格性、大容量の観点ではHDDが有望であるが、ポータビリティ、省エネ性、静音性、レスポンス性などはSSDの方が優れている点も多い。これらの特性から、ポータブル機器ではSSDに優位性があり、SSDへのシフトに加速がつくものとみられる。また、ポータブル機器以外では、省エネ性、レスポンスの速さなどの特性からサーバに適正があるものとみられる。情報を溜め込むためのサーバは、従来通りHDDが有望であるが、金融システムなど瞬時に情報をやり取りする用途向けではSSDが適しているとみられる。サーバにおいては用途によりHDD、SSDが使い分けられるものとみられる。また、HDD、SSDのハイブリッドタイプの製品も増加するものとみられる。

3. 市場予測

- HDDの市場規模は今後も拡大基調で推移し、2012年には5億8,300万台になると推計する。HDDの市場拡大に伴いHD(メディア)、磁気ヘッドの市場規模も拡大すると予測する。
- HDD市場では、2.5インチがノートPC市場の好調、3.5インチのアプリケーションのダウンサイジングにより、最も成長率が高く、今後更なる拡大が見込まれる。従って、HDDの市場の主力は3.5インチから、2.5インチへとシフトするものとみられる。具体的には2012年に3.5インチと2.5インチが逆転し、2.5インチが3億台になりHDD市場の51.5%を占めるものと予測する。

表1 HDDの口径別世界市場規模推移

(単位:千台)

口径	2007年	2008年	前年比	2009年 (見込)	前年比
3.5インチ	303,340	306,300	101.0%	309,000	100.9%
2.5インチ	161,080	211,600	131.4%	235,000	111.1%
1.8インチ	23,300	17,800	76.4%	7,100	39.9%
1.0インチ以下	3,050	0	0.0%	0	0.0%
合計	490,770	535,700	109.2%	551,100	102.9%

矢野経済研究所推計

注1: 出荷台数ベース

注2: 見込は見込値

表2 HDDの世界市場規模予測推移(口径別/用途別)

(単位:千台)

口径	用途	2009年(見込)	2010年(予測)	2011年(予測)	2012年(予測)
3.5	PC用	225,000	216,000	203,000	190,000
	サーバ用	26,000	24,000	22,000	20,000
	Non-PC用	58,000	60,000	65,000	70,000
	小計	309,000	300,000	290,000	280,000
	前年比	—	97.1%	96.7%	96.6%
2.5	PC用	200,000	218,000	235,000	241,000
	サーバ用	4,000	7,000	11,000	17,000
	Non-PC用	31,000	35,000	39,000	42,000
	小計	235,000	260,000	285,000	300,000
	前年比	—	110.6%	109.6%	105.3%
1.8	PC用	3,000	2,500	2,500	2,000
	Non-PC用	4,100	3,000	2,000	1,000
	小計	7,100	5,500	4,500	3,000
	前年比	—	77.5%	81.8%	66.7%
合計		551,100	565,500	579,500	583,000
前年比		—	102.6%	102.5%	100.6%
PC・サーバ用 小計		458,000	467,500	473,500	470,000
前年比		—	102.1%	101.3%	99.3%
Non-PC用 小計		93,100	98,000	106,000	113,000
前年比		—	105.3%	108.2%	106.6%
Non-PC向け/HDD全体 (構成比)		16.9%	17.3%	18.3%	19.4%

矢野経済研究所推計

注3: 出荷台数ベース

注4: (見込)は見込値、(予測)は予測値

注5: PC用の数量には外付けタイプやWhite Box用など、OEM以外のものを含む